

「小河内」便り 第36号 平成27年7月

特定非営利活動法人 小河内プロジェクト(理事長 安福孝昭)



連絡所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3

安佐小河内集会所

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogouchi.web.fc2.com/>

人口減少、過疎化が進む「小河内」を元気にしよう、と活動を始めて6年、NPO法人小河内プロジェクトを設立して4年が経過しました。温泉も地図に載る観光地もない、単なる田舎小河内に年間500人(延べ)を超える都市住民が農業体験やイベントに訪れています。しかし、一時的なお祭り騒ぎ(フロー)に終わり、ストックがない(雇用や目に見える経済的効果等)、イベント毎にお世話をするスタッフの高齢化等から、従来の方式を変え、農業や田舎に関心があり、移住や農村ビジネス起業、まちおこし等ある程度の志や思いを持つ都市住民を募集、1年間、小河内の暮らしに根付いた行事、文化を体系的に体験して、小河内の活性化を考え、実践する「田舎暮らし体験塾」を設立することになりました。塾生がこの体験や小河内の空気に触れ、日本の地方や中山間地で課題になっている少子高齢化、過疎問題(地方創生)や、(ライフスタイル)を「小河内」をフィールドに新しい時代を切り拓くような「モデル」を創生することを期待しています。

目次

第4期通常総会	P 2
理事会で安福孝昭氏を理事長に互選	P 2
平成27年度の事業計画	P 2～3
平成27年度職務分掌(役割分担)	P 3～4
白島商店会酒米づくり(草取り)	P 5
シニアクラブ(社会福祉協議会)	P 6
田舎暮らし体験塾について	P 6
鉢花の寄贈(子供会)	P 7
小河内の花(蓮)	P 7
小河内のルーツ小河内弥太郎	P 7
集落の現況④ 上三谷、下三谷集落	P 8
編集後記	P 8

第4期通常総会

6月21日（日）第4期（平成26年度）通常総会が行われ、会員82名中、正会員24名（委任状37名）出席して行われた。渡辺眞作理事長の挨拶に続き、議長に安福孝昭を選出、第4期事業報告、同収支決算報告、第5期事業計画案、同活動予算計画案任期満了に伴う役員改選を審議、原案通り可決承認された。役員16名も引き続き再選されました。



総会会場の会員



理事者

理事会で安福孝昭氏を理事長に互選

総会後開催された理事会で2期4年（Oプロジェクトからは6年）努め、基礎づくりに貢献された渡辺眞作理事長が退任、新しく安福孝昭副理事長が理事長に、鈴木師正理事が副理事長に、それぞれ満場一致で互選されました。その後、安福理事長より渡辺眞作氏を顧問に委嘱、中野英治理事を引き続き事務局長に任命しました。尚、鈴木師正副理事長は小河内自治会連合会長で、内規により自治会連合会長は当法人の副理事長に就任することになっております。

平成27年度事業計画

1、ハウス食と農と環境体験教室

NPO法人小河内Oプロジェクト

日 時	行 事 等	場 所
① 5月31日（日）	田植え、さつまいも植え	小河内地区内
② 7月26日（日）	草取り、水生生物観察	〃
③ 9月27日（日）	稲刈り、さつまいもほり	〃
④ 11月15日（日）	収穫祭、餅つき	〃

2、白島商店会酒米づくり

日 時	行 事 等	小 河 内 地 区 内
① 5月17日（日）	田植え、さつまいも植え	〃
② 7月12日（日）	草取り、水生生物観察	〃

③ 9月13日(日)	稲刈り、さつま芋芋ほり	〃
------------	-------------	---

3、白島小学校農業体験

日 時	行 事 等	小河内地区内
① 5月19日(火)	田植え	〃
② 9月15日(火)	稲刈り	〃

4、田舎暮らし体験塾

回	日 時	カリキュラム
第1回	8月22日(土)	開講式、オリエンテーション (小河内集会所)
第2回	9月 5日(土)	野菜植え(ダイコン、ハクサイ)
第3回	10月 3日(土)	棚田で稲刈り
第4回	10月31日(土)	柿もぎと吊るし柿の作り方 (秋季大祭前夜祭)
第5回	11月21日(土)	地域内巡回(消滅集落など)、ワークショップ
第6回	12月 5日(土)	漬物づくり
第7回	12月19日(土)	門松づくり、しめ縄づくり
第8回	1月23日(土)	みそづくり
第9回	2月13日(土)	炭焼体験
第10回	3月 5日(土)	ワークショップ

5、その他、外部への出店等

日 時	行 事	場 所
① 6月14日(日)	白島商店会ホテルツアー	小河内地区内
② 7月18日(土)	農産物市(白島碓神社夏祭り)	白島碓神社
③ 8月15日(土)	小河内夏祭り	旧小河内小学校
④ 10月11日(日)	農産物市	野外活動センター
⑤ 10月10日(土)~11日(日)	公民館ふれあい祭り	安佐公民館
⑥ 10月17日(土)	柿もぎ (農・食・医 同源研究センター)	小河内地区内
⑦ 10月31日(土)	昭和劇団奉納芝居、神楽	小河内集会所
⑧ 11月1日(日)	秋季大祭 吹き囃子行事	養山八幡神社
⑨ 11月29日(日)	安佐北元気フェスタ	安佐北区民文化センター
⑩ 1月 日()	とんど祭り(自治会)	小河内地区内

平成27年度職務分掌(役割分担表)

事業名	内容	担当理事(正)	(副)
理事長	代表、業務を総理	安福孝昭	
副理事長	理事長補佐	鈴木師正	
顧問	理事長の特命事項	渡辺眞作	
監事	財産状況監査、業務執行状況監査	玉田裕治 渡辺頼子	

1、農地保全等支援事業		岡田孝昭	阿部修一
2、中山間地等直接支払制度支援事業		岡田孝昭	阿部修一
3、I. Uターン促進事業	(1) 白島商店会ホタルツアー	鈴木師正	安福孝昭
	(2) 柿もぎ	安福孝昭	中川徹也
	(3) 田舎暮らし体験塾 ① 開講式、オリエンテーション	迫田勲 安福孝昭	岡田孝昭 迫田勲
	② 野菜植え	中川徹也	中川俊雄
	③ 稲刈り	中川俊雄	増田正幸
	④ 柿もぎ	安福孝昭	中川徹也
	⑤ 消滅集落巡回	迫田勲	中川徹也
	⑥ 漬物づくり	佐々木雅子	下本静恵
	⑦ 門松、しめ縄づくり	増田正幸	中川徹也
	⑧ みそづくり	下本静恵	佐々木雅子
	⑨ 炭焼	中川徹也	原本幸
	⑩ ワークショップ	安福孝昭	迫田勲
	⑪ その他、自主活動	迫田勲	渡辺真作
4、都市、地域住民との交流事業	(1) ハウス農業体験	鈴木師正	岡田孝昭
	(2) 白島商店会	鈴木師正	岡田孝昭
	(3) 白島小学校	岡田孝昭	鈴木師正
	(4) 小河内夏祭り	佐々木英孝	原本幸
5、地域農林水産物の加工販売事業	(1) 野活農産物市	中川俊雄	岡田孝昭
	(2) 白島イベント時	中川俊雄	岡田孝昭
	(3) 白島碓神社夏祭り時	中野英治	原本幸
	(4) 公民間ふれあい祭り	渡辺真作	安福孝昭
	(5) 炭焼き(弥太郎君)	原本幸	安福孝昭
6、情報発信事業	(1) ホームページ	中野英治	迫田勲
	(2) 小河内便り	迫田勲	中川徹也
	(3) 情報発信	迫田勲	安福孝昭
7、総務	(1) 定款	迫田勲	中野英治
	(2) 会議	迫田勲	中野英治
	(3) 助成金等申請	迫田勲	中野英治
	(4) 表彰申請	迫田勲	鈴木師正
	(5) 渉外	迫田勲	鈴木師正
8、事務局	(1) 会員管理、会費	中野英治	鈴木師正
	(2) 予算管理(月次決算)	中野英治	鈴木師正
	(3) 商品、物品管理	中野英治	鈴木師正

白島商店会酒米づくり（草取り）

今年で5年目になる白島商店会の酒米づくりの草取りが7月12日、が行われ、親子等43人が参加した。午前は開講式で小河内安福理事長の歓迎挨拶、白島石原会長の挨拶後、集合写真、田んぼの草取り、ホテルかごづくりに挑戦、昼食はバーベキュー、午後は広島自然観察会3名の講師から小河内川に入り、水生生物の観察を行った。初めて参加した人も多く、草取りなど普段ではできない体験ができた、バーベキューのお肉が美味しかった、等大半の人が満足とアンケートに回答した。
しかし、お互いの慣れが出てきたのでは、と心配する声もあった。



白島商店会の皆さんと地元のスタッフが一堂に 集合写真



田んぼの草取りに挑戦する白島の皆さん



バーベキューを楽しむ

シニアクラブ（社会福祉協議会）

小河内社地区協は、高齢者の社会参加を促し、健康づくりや親睦、見守り等を目的に高齢者のサロン「シニアクラブ」（代表渡辺稔彦氏）を立ち上げた。平成18年度より夏休みや春休み期間中に小河内小学校児童の見守り活動「小河内こどもクラブ」をしていたが、今春の閉校に伴い廃止になった。これに伴い、同クラブの代表を務めておられた渡辺稔彦先生のご提案で、高齢者の健康づくりや趣味等に気軽に集まるサロン「シニアクラブ」設立となった。社協は、清和、日浦地域包括支援センターやJA広島市、社会福祉法人みくに、ゆうゆうの共催を得て、高齢者の健康づくりや生き甲斐、見守りに繋げる。

このシニアクラブは原則月2回（第1火曜日と第4火曜日の午後）小河内集会所で行われる。6月23日（火）は、10人参加、40本の鉢花をトレー10個に植えた。

この鉢花は集会所前に置き、訪れる人に喜ばれている。

親しい人とお茶を飲みながら、お話しが聞けたり、おしゃべりできて楽しい、と好評である。しかし、車を持たない高齢者から、参加ができない、等足の確保が課題になっている。



花植えをするシニアの会員



出来た花を集会所玄関前に置き記念撮影

「田舎暮らし体験塾」について

小河内の活性化を目的に首記塾を設立、現在塾生を募集中。塾生は小河内に通い、年間の小河内の暮らしの行事や文化を体系的に体験、地元民と交流、空気を吸い、農村問題を考え、地方創生（過疎地を元気に）プランを企画、実践の道筋をたてる。従って塾生は観光気分イベント等に参加する一般の都市住民と違い、何らかの志や思い、覚悟を持つと期待される。最初からまちおこしをしたい、ビジネスを興したい、という積極派もいれば、田舎に憧れているが不安もあり、取り敢えず塾に入り体験し、小河内の空気を吸いながら、考えてみたい、という人もいるだろう。とも角、多様な思い、経験、知識、技能、人脈、情報等を有する塾生と地元の力を結集する時、何らかの答が見えるに違いない。

尚、10月には全国公募で小河内に住み込む「地域起こし協力隊」も広島市から委嘱される予定で、こうした外部の力の相乗効果で小河内が真に活性化することを期待する。

鉢花の寄贈（小河内子供会）

小河内子供会（原本高男会長）は花で美しい小河内に、と鉢花10トレーを寄贈、県道沿いのバス停5カ所（小峠、郵便局前、三谷入口（玉田商店前）、集会所前、野外活動センター入口）に設置した。水やり等は子供たちが行うという。善意に感謝したい。



小峠バス停に置かれている鉢花

小河内の花（蓮）



大仏溝（万福寺前付近）



小峠（小峠ゴミステーション横）

小河内のルーツ、小河内弥太郎



小河内弥太郎を祀る殿之城霊神社



弥太郎の首塚と説明碑

集落の現況④

今回は上、下三谷自治会を取材、両自治会長の共通項は高齢化問題、世話役になり手がない、このままで行くと10年後を心配する声も。上三谷は世帯数が半減している。

自治会	上三谷		下三谷	
	現在	昭和15年	現在	昭和15年
全世帯数	8	15	27	30
自治会加入世帯（地区外、内数）	8（1）		20（4）	
総人口（在住者数）	10		60	
65歳以上（高齢率）	8（80%）		35（58%）	
一人暮らし世帯	5		4	
空き家（1年以上）	2		2	
現存する廃屋	1		1	



高齢者の一人暮らし世帯が多く、このままで行くと、10年後に自治会機能が存続しているか??



以前は小河内地区で一番の若者や子供が多く集落の共同作業や親睦旅行等が活発に行われ、元気な集落であったが、近年は高齢化が進み旅行も実施出来なくなる等、元気のない集落になり、将来に不安が残る。色々な役になり手がない。

編集後記

人の最大の喜びは食べることだろう。唯、空腹を満たす喜び、満足感もあるが、文化のある食べものは格別。地域、素材、作り方（伝統、秘伝）、色、形、匂い等の凝縮された伝統食、食文化は食する場所（雰囲気）や人が揃えば最高の幸福感を感じる。旅先の旅館やホテルでその地物の料理や地酒が出る時、このような経験をお持ちの方も多だろう。都市住民との交流で小河内の漬物はうまい、と好評である。代々親から子、嫁へと受け継がれた伝統の味、田舎らしい素朴な味が受けるのだろう。この漬物があればごはんがもう一杯欲しくなる、そんな経験がある。ビジネスは身近な中にヒントがある。これをまちおこしに生かせないか、と思うこのごろである。（S）